

その話大丈夫？ あなたを狙う悪質商法

高齢者は利殖（儲け話）のトラブル、若者はアダルト情報サイトなどのネットに関するトラブルが増えています。

おかしいなと思ったら代金を支払う前に周囲の人や家族に相談しましょう。

平成24年度は462件の相談が寄せられました。

相談件数は、平成23年度(465件)とほぼ同じ件数となりました。最近の相談内容は、複雑化していて、取引相手や契約内容がとてもわかりにくくなっています。

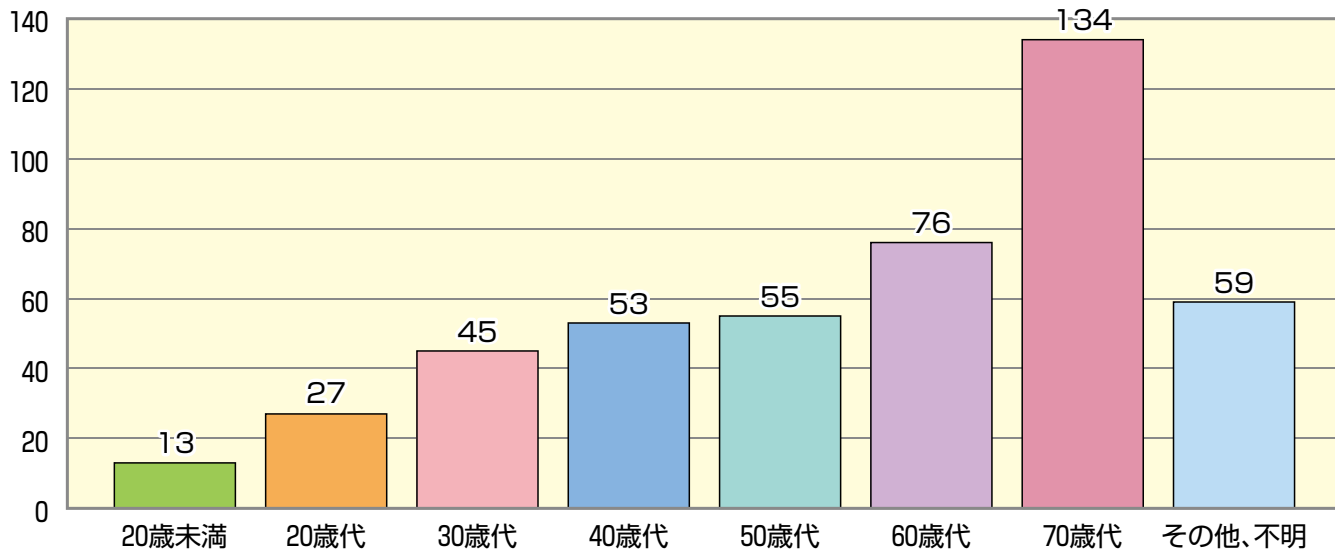
今年度多かった相談は

- ① アダルトサイト、出会い系サイト、オンラインゲーム等のネットのトラブルの相談（44件）
- ② 多重債務や過払金、債務整理に関する相談（36件）
- ③ 未公開株、社債、怪しい権利取引（ファンド型投資商品など）に関する相談（27件）

年齢別にみると、60歳以上の方からの相談が年々増加し、全体の45%を占めています。最近目立つ相談は、高齢者の生活における経済的不安に付け込んだ詐欺的な儲け話のトラブルです。電話勧誘や訪問販売で怪しい権利取引などを儲かると言って勧めます。また、頼んだ覚えのない健康食品を代引きで強引に送りつけられるというトラブルも増加しています。

契約を急がされ、お金を払ってしまうと取り返すのはなかなか大変です。慌てず、家族や周囲の人に相談し、冷静になって契約してください。

〈契約当事者の年齢別件数 平成24年度〉



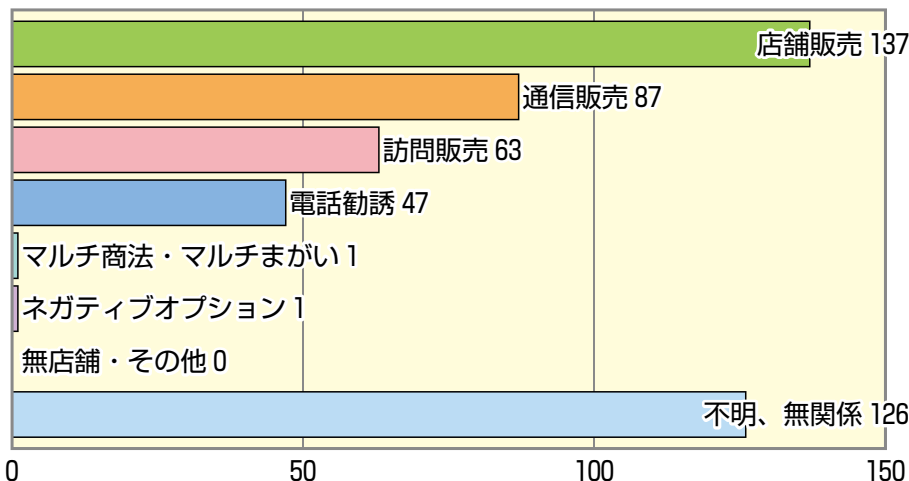
〈センターへの相談方法〉

来所	259件
電話	203件
文書	0件

〈センターへの相談件数〉

消費生活相談合計	462件
苦情	405件
問い合わせ	57件
要望	0件

〈販売購入形態別相談件数 平成24年度〉



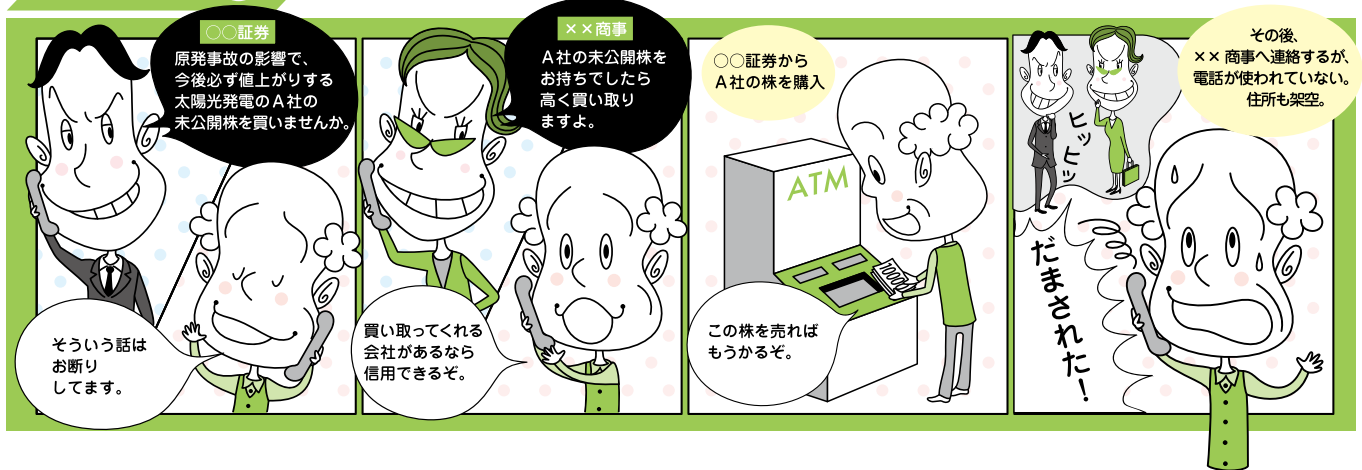
高齢者の消費者トラブル

「未公開株」や「社債」による高額な被害が急増中！

事例その①

劇場型

複数の会社が登場して、言葉巧みに勧誘を行う「劇場型」の手口です。買い取りの約束が実行されることはなく、業者と連絡が取れなくなるケースも多くなっています。



若者の消費者トラブル

～インターネットトラブル～



「無料」とうたったゲームや占いサイトにアクセスすると、知らないうち
に有料サイトに会員登録させられ、料金を請求された。

ここに
注意!

- 興味本位で安易にクリックしないように注意して！
請求画面が出ても原則として無視しましょう。
あわてて業者に連絡してしまうと逆に個人情報を知られてしまい、さらにしつこい請求を受けることもあります。

製品事故から身を守るために

長年使っている電気製品で、経年劣化が原因の火災事故が起きています。事故を防ぐために、ご自宅の電気製品等を点検しましょう。また、製品事故情報（リコール情報）が新聞、テレビやホームページに載っていますので確認してください。



消費者庁リコール情報サイト

<http://www.recall.go.jp/new/detail.php?rci=00000006063>